

第四十回帝國議會 衆議院 貨幣法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正七年二月二日午前十一時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

- 齋藤 安雄君
- 齋藤 健三君
- 齋藤 正年君
- 齋藤 近藤君
- 齋藤 慶一君

出席政府委員左ノ如シ

- 大藏省理財局長 神野勝之助君
- 大藏省參事官 黒田 英雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

貨幣法中改正法律案

○委員長(齋藤安雄君) ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シマス、前會質問ガアリマシタ法律ト省令トノ關係ニ付テ、何カ御説明ガ御坐イマスカ

○政府委員(神野勝之助君) 前會御質問ガ御坐イマシテ、昨年ノ九月大藏省令ヲ發布セラレテ、帝國銀貨ノ鑄造ヲ禁止シタト云フコトハ、憲法法律ニ反シテ居リハシナ

○委員長(齋藤安雄君) ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シマス、前會質問ガアリマシタ法律ト省令トノ關係ニ付テ、何カ御説明ガ御坐イマスカ

○委員長(齋藤安雄君) ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シマス、前會質問ガアリマシタ法律ト省令トノ關係ニ付テ、何カ御説明ガ御坐イマスカ

幣局へ提供スル人ハ、何時デモ一圓ヲ得ラレルノデアリマス、又二分ノ金貨ヲ持ッテ居ル人ハ、其價ヲ辨濟スルノニ其二分ヲ提供スレバ、法律上當然價ヲ辨濟シ得ルト云フコトハ、此省令ガ發布セラレタトセラレタトニ付テ何等關係ノナイ事デ、依然トシテ純金二分ト云フモノハ一圓ノ法律上ノ力ヲ持ッテ居ルノデアル、唯、經濟的ニ考ヘマス、又此時ノ事實ハ此二分ヲ買フノニ一圓以上出サナケレバナラナカッタト云フ現象ヲ一時呈シマシタ、併シソレハ經濟上ノ現象デアッテ、例ヘテ見レバ通貨ガ膨脹シタト云フヤウナ時ニ、以前米一石十五圓買ヘタモノガ、通貨ノ膨脹其他ノ關係ニ依テ二十圓出サナケレバ米一石買ヘナイト、斯ウ云フヤウナ事ノ起ルノト同事デアッテ、純金二分ハ法律上、以前モ此時モ矢張一圓デアルニ拘ラズ、其一圓ヲ買フ或物品ノ分量ニ差ヲ生ジタト云フニ過ギヌデアリマス、チットモ其精神ニ反シテ居ルト云フヤウナ嫌ハナイト思ヒマス、テ現ニ例ヘバ慶長小判ノ如キ、是純金四匁ノ價值アリトシマス、二十圓ノ法律上ノ價值ノアルモノデアリマスケレドモ、之ヲ品物トシテ買ハントスル時ニハ、二十圓デア買ヘナイノデアリマス、二十圓トモ云ヒ又人ニ依テハ四十圓モ五十圓モ出シテモ買フト云フ人ガアル、夫等ハ皆經濟的ノ現象ヲ御坐イマシテ法律上ノ議論ハナイノデアリマス、ツ

コト一ツ能ク區別ラシテ御考ヘ下サレバ、質問者ノ如キ御疑問ハ起ラナイデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、大要ハ先ヅサウ云フ譯テ御坐イマス

○委員長(齋藤安雄君) 一寸私カラ御尋ヲ致シマス、唯今ノ政府委員ノ御説明中、私ノ最モ注意ヲ惹キマシタノハ、寧ろ憲法實施前ノ太政官ノ布告ト云フコトガ重要ナ事ト思フデスガ、憲法實施前ノ太政官ノ布告布達ト云フヤウナモノハ、私ノ考フル所デハ、多ク布告ハ法律ト云フヤウナ意味ニ解釋シテ居ルヤウニ思フノデス、若シモソレガ法律ノ性質ヲ持ッテ居ル所ノ布告デアルトスレバ、問題ハ大分事柄ガ變ッテ來ルト思フノデス、政府委員ノ今御話ニナッタ太政官布告ハドウ見テ居ラレルノデセウカ、一寸ソレヲ承ッテ見タイ

○政府委員(神野勝之助君) ソレハ御話ノヤウニ太政官布告ハ憲法發布以前ノモノデアリマスカラシテ、直チニ今日ノ法令ニ該テ爾譯ニハ參リマセヌノデス、是ハ其性質ニ從ヒマシテ、或モノハ法律ト同一ノヤウニ見マスシ、或モノハ勅令ト同一ノ若クハ其以下ノモノニ各々規定シテ居リマス、性質ニ依テ今日區別シテ居リマスノデ、ソレデ此明治十一年ノ太政官布告ハ果シテレニ該ルカト云フコトヲ考ヘマスルト云フト、先程理財局長カラ御話申上ゲマシタ如クニ、鑄造若クハ體面ヲ毀傷スルト云フ事柄ハ、即チ地金ガ鑄造セラレマシテ一ノ貨幣ト云フモノニナリマシタ以上ハ、又之ヲ持ッテ居リマス者カラ見レバ所有物デアリマシテ、即チ其所有權ニ付キマシテ鑄造トカ若クハ體面ヲ毀傷スルト云フコトヲ止メマスルト云フコトハ、即チ其貨幣ノ使用若クハ收益處分ト云フ權利ニ對シテ、一種ノ制限ヲスルコトニナリマスノデ、即チソレガ今日ノ法制ニ於キマシテハ、民法ヲ以テ法令ノ範圍ヲ以テ自由使用收益ノ處分ヲスルコトガ出來ルコトニナツテ居リマスカラ、其使用收益ノ處分ニ付テ或種ノ制限ヲ加ヘルト云フコトハ、法律若クハ命令ヲ以

テ出來ルコトニナツテ居ルト云フノガ法制ノ立前デアリマス、太政官ノ布告ハ此使用收益處分ニ付キマシテ一種ノ制限ヲシタデアリマス、是ハ法律ヲモ命令ヲモ出來ルモノデアリマスカラ、必ズシモ此太政官ノ布告ハ法律テナケレバナラヌト云フコトハナイモノト解釋シテ居ルデアリマス、ソレヲ當局ニ於キマシテハ、是ハ詰リ法律テハナイ、省令以下ノモノデアルト云フ解釋ヲ以テマシテ、昨年布告シマシタ省令ニ於キマシテモ、明治十一年太政官第二號ノ布告ハ之ヲ廢スト云フ附則ヲ附ケテアルデアリマス、此廢止ノ附則ト云フコトハ考違ヒデアリマシタ、ソレハ取消シテ置キマス

○與村三樹之助君 私人貨幣法中改正案ニ付キマシテハ別段ニ異議ハアリマセヌガ、前會ノ委員會ニ於テ或委員ノ御質問ニ對スル政府委員ノ御答辯ヲ拜聽シ、尙ホ質問者ノ速記録ヲ拜見シマシルト云フト、要スルニ是ハ形式問題ノ議論ノヤウニ考ヘマスカ、其問題ハ人民ノ所有權ノ制限ト云フコトハ省令ニ依テ容易ク爲シ得ルモノデアリカドウカ、ドウシテモ法律若クハ勅令ニ依ラナケレバナラヌカドウカト云フコトハ、自ラ是ハ專門家ノ攻究ニ俟ツベキモノト考ヘマシラノテ、免ニ角此問題ニ付テハ貨幣法中改正ニ關スルコトト切離シテ他日攻究スルト云フコトニシテ、此貨幣法ニ付テハ原案ニ對シテ私ハ贊成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(齋藤安雄君) 與村君ノ御意見、御質問ハ御尤モト思ヒマスガ、先刻私ガ御尋致シマシタ所ノ意思ハ、此太政官布告ト云フモノハ御廢シナラナイト云フコトデアリマスカラ、寧ろ太政官布告ハ即チ憲法實施前ノ法律ト見レバ定ニ適當ナ解釋デアルト思フ、此憲法實施前ノ太政官ノ布告ナリ布達ト云フモノハ、其性質ノ種類ニ從テ、或ハ法律トモナリ、或ハ命令トモナルコト、認メルデアリマスカラ、其點ガ政府委員ノ御説明ノ意味ガ不十分デアハナカッタカト思フデアリマスガ、モウ少シソコソ所ヲ明カニシテ頂イタナラバ此問題ハ解決スルカト思フ

○與村三樹之助君 私人委員長ノ意見ト同ジデ、太政官布告ナルモノハ一種ノ今日ノ法律デアアルカト考ヘテ居ルデアリマス

○政府委員(黒田英雄君) ソレハ從來太政官ノ布告ト云フモノハ、今日ノ法律デアルト見テ居ルモノデアリマシ、又法律……

○委員長(齋藤安雄君) ソレハ分リマシタケレドモ、今ノ太政官ノ布告ハ貴方ノ方デハ法律トハ御認メニナラヌデアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 左様デアリマス、ソレハ先程申シマシタ通りニ、此事ガ今日ノ法制デ以テシマシレバ、法律ヲ要シナイモノデアリマス、ソレヲ規定シテ居ルモノハ法律テナイ、斯ウ云フ風ニ見テ居ルデアリマス、詰リ今日憲法上、立法事項ニ屬シマシルモノハ、是ハ勿論太政官布告デ其事ヲ規定シテ居リマシタナラバ、法律ト見マシテ、之ヲ改廢シマシルニハ、法律ヲ要スル事項ニナルデアリマス、併シ此事柄ハ法律ヲ要シナイ事項デアリマスカラ、ソレヲ規定シテ居リマシタル太政官布告ハ、又之ヲ法律ト見ナイト云フ解釋ヲ取ツテ居リマス

○委員長(齋藤安雄君) 尙ホ私カラ御尋ネシマスガ、今ノ御説明ニ依リマシルト、昨年發布シタ省令ニハ、前ノ布告ト云フモノハ廢止スルト云フ條文ハ無イヤウニ伺ツタノ

デアリマスガ、サウデハアリマセヌカ

○政府委員(神野勝之助君) 御坐イマセヌ、活キテ居ルデアリマス

○委員長(齋藤安雄君) 其意味ガ甚ダ撞著スルト思フデアリマス、今ノヤウナ御趣意デアレバ、前ノ布告ハ廢止スルト云フコトヲ寧ろ規定スルノガ當然デアハナイカト考ヘマスカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(神野勝之助君) ソレハ此太政官布告ニハ制裁ガアリマセヌ、禁止ダゲアツテ制裁ガ無カッタ、ソレヲ制裁ガ無イト云フト、ドウモ實效ガ擧ラヌト云フコト、制裁ヲ附ケタイガ爲ニ矢張毀傷鑄潰シテハイカヌ、鑄潰ス者ハ斯ウ云フ制裁ヲスルト云フコトヲ其必要上茲ハ入レテ參リマシタノデ、從來ト雖モ此布告ガアリマシカ、貨幣ヲ鑄潰シタリ毀傷スルト云フコトハ、一體イカナカッタデアリマスガ、現ニ全貨ヲ鑄潰シタリ、或ハ孔ノ明イテ居ル錢ヲ鑄潰シタリスルコトヲ往々ヤツテ居ルデアリマスケレドモ此布告ハ一體サウ云フコトハイカヌト云フコトヲ示シテハ居リマスガ、ケレドモ制裁ガ無イモノデアリマスカラ、政府ハ別ニ之ニ對シテ制裁ノ附シヤウガナイデアリマス、一體此貨幣ト云フモノヲ鑄潰スルト云フコトハ、一寸常識カラ考ヘマシテモ宜シクナイコトデア、ソレデアリマスカラ此機會ヲ以テ此布告ノ趣意ヲ實效アラシメンガ爲ニ、茲ニ更ニ増補致シマシテ、サウシテ制裁ヲ附シテ其實效ヲ擧ゲタイト云フノガ、此省令ノ趣意デアツタデアリマス

○委員長(齋藤安雄君) 尙ホ御尋ネ申シマスガ、唯今政府委員ノ御説明ニ依リマシルト云フト、矢張前ノ太政官布告モ省令同性質ノモノデア、之ヲ補正スル爲ニ更ニ昨年省令ヲ出シタ、斯様ナ御説明デアリマス、サウ致シマシルト、先刻與村君ノ御發議ノ如クニ、此問題ハ當貨幣法中改正法律案ニ直接ノ關係ハアリマセヌ、唯ダ法曹界ノ問題トシテハ頗ル重大ナル問題ト考ヘマシラノデ、是ハ與村君ノ御發議ノ如クニ他日ノ攻究ニ讓ルト云フコトニ致シマシテ、暫ク留保致シテ、貨幣法中改正法律案ハ別ニ決議スルコトニ致シタイト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(齋藤安雄君) ソレハ私ハ其問題ハ暫ク保留シマシテ、他日ニ讓ルトシテ本案ニ付テ一寸モウ一ツ御尋ネシタイ、私ハ其後此補助貨ノ改鑄ニ關スル沿革ヲ調べテ見マシルト云フコト、十五年前、即チ貨幣法ノ實施後暫ク經チマシタ時代ニ於テ、矢張衆議院カラ政府ニ對シテ、補助貨ノ品性ヲ下シ、及ヒ分量ヲ少ナクスル方ガ良クハナイカト云フコトデ、建議案ガ出タコトガアリマスガ、其場合ニ於テハ政府ハ二三ノ理由ヲ示シテソレニ反對シテ居ルデアリマス、其理由中一ツ考慮シナケレバナラヌト思フノハ、成程補助貨ヲ小サクシ、品質ヲ惡クスルト云フコトハ、或ル一面カラ考ヘレバ大層宜シイコトデアケレドモ、併シ若シ銀貨ガ下落スル場合ニ於テ、即チ銀ノ價格ハ多ク二十片デアルト云フコトガ多イデア、是ハ改正案ノ如ク六十片代ニ改鑄シマシルト、三十片代ノ時ニハ殆ド實際ノ價值ハ貨貨ノ半分ニナルカラシテ、ソレハ補助貨ヲ偽造若クハ贋造スル者ガ多ク起ル虞ガアル、其爲ニ衆議院ノ建議セントスル補助貨ヲ殆ド半分ニシヨウト云フコトニハ同意スルコトガ出來ナイ、餘リ補助貨ノ品位ヲ惡クスルト、實價ノ下ツタ時ニハ偽造贋造ヲ誘起スルコトニナルカラト云フノデ、其當時政

府ハソレニ反對ヲシテ居ッタデアリマス、其分量及ヒ貨幣ノ品位ト云フモノハ、殆ド今
同ノ改正案ト同一ノ程度デアッタと思ヒマス、當時ノ政府ノ説明ニ依テ今回ノ補助
貨改鑄案ヲ解釋シマスレバ、今日ノ如クニ銀價ノ非常ニ騰貴シテ居ル場合ハ宜シ
イガ、併シ是ハ寧ロ平常ノ事ナクシテ、今日ノ銀價ノ騰貴ト云フコトハ、大體ノ經濟
界ノ形勢カラ觀レバ、寧ロ變則デアリマス、是ガ普通ニナッタ場合ニハ、前ニ政府ノ説明
シテ居ッタヤウニ、餘リ法價ガ實價ヨリモ多過ギル爲ニ、鑄造スルカ、偽造スル者ヲ誘
發スル虞ガナイデアリマセウカ、此點ガ少シク心配ニナルデアリマスカラ、之ニ對スル政
府ノ意見ヲ念ノ爲ニ伺ッテ置キタイと思ヒマス。

○政府委員(神野勝之助君) 御尋ノヤウナコトガアッタヤウニ私モ記憶シテ居リマス、
當時政府ノ意見ハ御尋ノヤウナ點モ御坐イマシタシ、又一ツハ急激ノ改正ハ宜シクナ
イ、ソレヲ建議ノ如ク——確カ半分位ニシヤウト云フ趣意デアッタカと思ヒマスガ、半分
ニスルト云フヤウナ急激ノ改正ハ宜シクナイト云フヤウナ趣意モアッタヤウニ記憶シテ居
マス、ソレヲ免ニ角唯今ノ御話ノ如ク銀價ガ下ッテ實價ガ低落スルト云フト、偽造ヲ
誘發スルヤウナ虞ハナイカト云フハ御尤モナコト、存ジマス、併ナガラ此補助貨ノ偽造
ト云フヤウナコトハ、今日尙ホ攻究ヲ致シテ居ルデアリマスガ、中々多量ニ之ヲ偽造
致シマセヌト云フト大シタ利益ハナイデアアル、殊ニ今日ノ銀貨ト云フモノハ、之ヲ鑄
造スルノテナクシテ、打ッテ之ヲ製造スル、斯ウ云フヤウナ時代デアリマスカラ、盛ニ之
ヲ鑄造シテ造リ出スト云フヤウナコトハ、一寸個人トシテハ出來又仕事デアリマス、偶
之ヲ鑄型ハ入レテ造ルト云フヤウナコトヲシテ居レバ、幾ラモ出來マセヌシ、又サウ云フヤ
ウナ事ヲシテ居レバ警察制度ナドガ漸次完備シテ參リマス今日ニ於テハ、直チニ發見ス
ルコトガ出來マスノデ、サウ云フ事ノ無イヤウニ、十分ノ取締ガ出來ルコトデアラウト思ヒ
マス、ソレデアリマスカラ、此際歐米各國ノ主ナル國ノ採用シテ居ル程度ノモノニ改造
スルト云フコトハ、時宜ヲ得タルモノト考ヘテ、今回ノ改正案ヲ提出致シタデアリマス、
尤モ此偽造ノ取締ニ付テハ、是ハ十分致シマシテ、サウ云フ事ノ無イヤウニヤッテ參ルト
云フコトハ、是ハ勿論ノ事デアリマス。

○委員長(齋藤安雄君) モウ一ツ私カラ御尋ネシマス、是モ前ニ一寸問題ニナリマシ
タデアリマスガ、尙ホ念ノ爲ニ伺ヒタイノデス、此一圓兌換券ノコトデアリマス、前會ノ
御答辯モ多分サウ云フ意味デアッタと思ヒマスガ、一圓兌換券ハ最初ノ政府ノ方針デ
ハ、一圓ト云フ正貨ガ無イカラ、一圓兌換券ハドウシテモ漸次引揚ゲナケレバナラヌモ
ダト云フ方針ヲ執ラレタヤウニ承知シテ居リマスガ、併シ實際今日ノ日本ノ財界ニ於
テハ最モ之ヲ必要トスル爲ニ、左様ナ希望ガ民間カラ起ッタモノデアリマスカラ、政府ハ
前ニハ漸次引揚ルト云フ方針ヲ執ッテ居ラレタヤウニ記憶シテ居リマスガ、先日ノ委員
會ニ於ケル政府委員ノ御説明ハ、最初左様ナ意思ヲ持ッテ居ッタガ、其後段々實際
財界ノ狀況ニ依レバ、全ク此一圓兌換券ト云フモノハ貨幣ノ流通ヲ滑カニスル爲ニ必
要デアルト認メタ故ニ、當分一圓紙幣ヲ引揚ゲルト云フ方針ヲ執ラヌト云フ御趣旨ニ
唯今ハナツタト云フヤウニ承ツタデアリマスガ、間違ハアリマセヌカ、念ノ爲ニ伺ッテ置キ
タイ

○政府委員(神野勝之助君) 御承知ノ通り一圓兌換券ハ、今日ノ現在ノモノハ、

金貨本位ト云ヒマスガ、貨幣法改正前ニ彼レガ出來テ居ルデアリマシテ、形式ガ面
白クナイデアリマス、銀一圓ト交換スルト斯ウ書イテアルノデ、之ヲ永久ノモノニシテ一
圓兌換券ヲ金一圓兌換券ト云フモノヲ發行スルガ得策デアルトカト云フ根本問題ニナ
リマシテハ、是ハ從來研究ヲ致シテ居リマスガ、未ダ如何ニスルカト云フコトニ付テ決
定ヲ見ルニ至リマセヌデアリマス、免ニ角經濟界ノ現狀ハ、一圓券ト云フモノヲ全然
無クシテシマウト云フコトハ不便アル、不便デアリマスカラ、從來ノ一圓券ト云フモノ
ハ形式上面白クナイカラ、漸次是ハ引揚ゲルト云フ思想ノ下ニ——方針ノ下ニ進マナ
ケレバナラヌト云フコトハアリマスガ、暫ク共引揚ニ手心ヲ加ヘテ、或程度マデハ之ヲ流
通サシテ置ク、又或程度マデニ達セズシテ汚損シタモノヲ引揚ゲルトカ、破レルモノヲ
引揚ゲテ、非常ニ少クナレバ、或程度マデハ矢張新規ニ補充シテ流通サシテ置カウト云
フノガ、現在ノ狀況ニアリマスルノデ、事實ハソレヲ矢張舊形式ノ一圓券ヲ新シク造ッテ
補充シテ居ルト云フ有様デアアルデアリマス、ソレヲ昨年來ハ非常ニ小サキ貨幣ノ需要
モ増加致シマシタ故ニ、前會ニ於テ申上ゲタ如ク、其發行高モ一時殖ヤシマシテ、從
來ノ倍額位マデ流通サシテ居ルト云フ狀況ニアルノデス、將來之ヲドウスルカト云フコト
ニナリマシテハ、新ニ今日ノ一圓券ノ形式ノモノヲ拵エテ發行スルカドウカト云フコト
目下研究調査ヲ致シテ居リマスガ、マダソレハ決定ヲ致シマセヌ、免ニ角此舊來ノ一
圓券ト云フモノハ、徐々ニ引揚ゲルト云フ思想ノ下ニ、事實ハ當分ハ或程度マデハ之ヲ
保存シテ置クト云フ方針ノ下ニ、目下ノ所ハ進ンデ居ルデアリマス。

○委員長(齋藤安雄君) ソレハ本案ニ付テハ別ニ御意見御坐イマセヌカ
〔異議アリマセヌ〕「原案ニ贊成シマス」ト呼フ者アリ

○委員長(齋藤安雄君) ソレハ此改正案ニハ別ニ異議御坐イマセヌヤウデスカラ、
可決シタモノト認メマス——之ニテ散會致シマス
午後零時三十三分散會

大正七年二月十一日印刷

大正七年二月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局